



赤い羽根 ポスト・コロナ（新型コロナウイルス）社会に向けた福祉活動応援キャンペーン

～新型コロナウイルス感染下において困窮する人々を支援する～

「外国にルーツがある人々への支援活動応援助成」第3回助成決定にあたって

2022年10月28日

1. 応募状況の概要

- 外国にルーツがある人々への支援活動応援助成への応募は、64件（1億3,219万円）でした。
- 応募した団体の所在地は、東京都が15件、愛知県が8件、埼玉県・京都府・大阪府・兵庫県・広島県が4件、神奈川県・滋賀県が3件、福島県・茨城県・千葉県・福岡県が2件、群馬県・新潟県・長野県・静岡県・愛媛県・香川県・佐賀県が1件であり、外国にルーツがある人々の居住割合が高い地域からの応募が多い傾向にありました。
- 応募した団体の法人種別は、NPO法人が36、任意団体が18、一般社団法人・その他が3、公益財団法人が2、社会福祉法人・公益社団法人が1でした。

2. 助成決定の概要

- 応募いただいた団体の審査を行った結果、45団体、総額8,139万円の助成を決定しました。総額のうち、助成プログラム①「緊急支援プログラム」は36団体・7,417万円、助成プログラム②「地域交流プログラム」は9団体・722万円の決定となります。
- 応募要項に照らし合わせて審査を行い、必要性・緊急性が高い活動、また確実に効果的な支援につながる活動であると応募書から判断されるものを決定いたしました。

3. 助成決定にあたって（委員長コメント）

2020年、三菱創業150周年を記念した社会貢献事業の一環として供出された公益財団法人三菱財団からの資金を原資に、新型コロナウイルス感染下において、国内に在住し、生活に困窮する等さまざまな困難な状況にある外国にルーツがある人々を支援する活動を資金面から応援することを目的として開始した本助成プログラムは、今回が第3回目の助成となります。

コロナ禍の影響は当初より落ち着きを取り戻しつつあるように見受けられますが、一方でその影響は長期化しており、従来、公的支援の枠組みからこぼれ落ちていた、または言語の壁や文化の違いなどにより支援とつながりにくい外国にルーツがある人々は、雇い止めなどによる経済的困窮や必要な支援や医療情報への母語によるアクセスの困難さなどから引き続き困難な状況に置かれています。このような人々に対する、多様で重層的な支援が必要であるとの判断に至り、第3回助成を実施いたしました。

第3回助成では、ポスト・コロナ社会を見据え、上述した困難な状況に置かれている人々へ

の支援活動を応援する「緊急支援プログラム」の他に、多文化共生社会を実現するための、地域住民との交流や相互理解を促進する活動を応援する「地域交流プログラム」を設定いたしました。

今回、応募があった64件のうち、45件が採択され、8,139万円の助成が決定しました。「緊急支援プログラム」では、コロナ禍により職や住まいを失い生活が困窮する外国ルーツの人たち(留学生、難民、技能実習生を含む)への生活相談や就労支援、シェルター等の提供による居住支援、専門家や行政への相談・申請における翻訳や通訳支援、また子どもや若者に対する日本語学習支援や地域で孤立しないための居場所づくり活動、多言語による各種支援情報の提供、ウクライナ避難民のメンタル面を支援する活動などがみられました。

また、今後さらに必要とされる支援活動として、支援を必要とする人たちへより幅広くアクセスする試みとしてのアウトリーチ活動や調査・発信事業や、支援を身近に感じ、また安心して支援を受けられる環境づくりとしての外国にルーツがある人たちやそのコミュニティと連携した支援活動、支援活動をより効果的に展開することを目的としてボランティアを含む支援の担い手を育てる活動などが採択されました。

もう1つの「地域交流プログラム」は、全体として応募は少なかったものの、外国にルーツがある住民と日本人住民ボランティアとのペア交流事業、中山間地で孤立しやすい外国にルーツがある労働者に対し大学生による日本語教室を介した交流事業、地域に多言語図書館をつくり、そこへ集う外国にルーツがある人へ情報提供や相談支援を行う事業など、地域を基盤とした多様な取り組みがみられました。

今回、採択された事業では、継続的な支援活動を積み重ねつつ、目の前の活動から新たな課題を見出し、創意工夫のもと新しい活動やプログラムを展開する事業に、特に審査委員の関心が集まりました。願わくば、本助成金が採択団体の資金面や人的基盤の支えとなり、新しいプログラムの開発や連携先の開拓や強化、さらには助成後を見据えた事業の発展と組織基盤の強化につながることを期待いたします。

日本に暮らす外国にルーツがある人々への支援体制はまだまだ十分であるとは言えませんが、今回ご応募いただいた多くの団体や団体とつながる人たちの熱意により、懸命な支援活動が日本各地で行われていることを実感いたしました。本助成によって、外国にルーツがある人々を支える人たちの輪が広がり、地域ぐるみで外国にルーツがある人々を支える体制が全国各地に構築され、多文化共生社会を実現するための一助となることを願います。

「外国にルーツがある人々への支援活動応援助成」審査委員会
委員長 上野谷加代子